

○平成29年度1学期終業式校長式辞

本日、こうして1学期の終業式を無事に迎えることができました。とても嬉しく思います。只今、各学年の代表生徒から1学期を振り返っての発表がありました。岡本くん、斎田さん、中島さんそして香取さん、皆さん素晴らしい発表でした。4人とも原稿を見ない堂々とした立派な発表でした。なかなかできないことです。きっとこの日のために良い準備をしてくれたのでしょう。

さて今日は「複数の大切さ・素晴らしさ」についてお話します。今、世の中では1つのことだけではなく2つ以上のことに取り組む人が注目を集めています。例えばプロ野球の大谷選手です。彼の二刀流は有名です。水泳では萩野選手や池江選手が多種目にわたって素晴らしい泳ぎを披露しています。大谷選手は投手と打者を極めることで投げることや打つことのヒントや気づきを学んでいるのかもしれませんが。萩野選手や池江選手も複数の泳法を経験することでモチベーションを向上させているのかもしれませんが。もちろん誰もが大谷選手や萩野選手や池江選手に様にはなれませんが、なぜ2つ以上の複数のことに挑戦しているのかを考えると私たちも学ぶべき点が見えてきます。

物事には必ず2つ以上の複数の側面があります。「称賛と批判」「不易と流行」「成果と課題」などです。例えばふじみ野市では昨年夏休みが1週間短くなりましたね。皆さんの中にはどうして短くなったと残念に思う人もいます。しかし皆さんの親御さんの中には弁当をつくる期間が短くなって良かったと思う人もいます。また梅雨の季節は雨が多くて嫌いだという人もいます。しかし農家の皆さんは作物を育てるために雨が待ちどおしいと思う人もいます。同じ行為や現象でも見方や考え方や置かれている立場が変わると全く違った見方や感じ方ができてしまうのです。大切なことは見方や考え方を1つにしたり1方向だけにしないことです。自分の考えは絶対正しいと信じ、自分と違う行為や考えを排除してはいけません。いつも物事や考え方には必ず両面があることを忘れず、簡単に人を非難したり排除したりしないことです。人が普通に生活する上で100%正しいことや100%間違っていることはありません。皆さんの周りには友だちや先生や家族がいますね。あの人は間違っている、あの人は嫌いだと言う前に自分の考えや感じ方は間違っていないか・・・と振り返ってみてください。自分と違う考えを持つ人との出会いは、必ず気づきと成長をもたらしてくれます。心を安定させてくれます。そして相手を尊重する雰囲気を広まれば、いじめも自然と消えてなくなります。このように複数の見方や考え方には素晴らしい力があります。常に2つの見方や考え方を持っている人を嫌いになったり批判したりすることはなくなります。その結果、自然と心が安定し誰とでも豊かな人間関係が築ける幸せな毎日が送れるのです。

最後にもう一つ大切なお話しをします。命の大切さです。人は何かを失った時、初めてその価値や素晴らしさに気付きます。しかし命は一度失うと二度と戻ってきません。命とはこの世で一番大切な宝ものです。私も3年前、父を亡くして初めて父の存在の有難さに気付きました。もっと大切にしていればよかったと後悔しています。しかしもう二度と父は戻ってきません。皆さんにはこれからの長い人生を生きていくたった1つの大切な命があります。毎年、テレビや新聞で夏休み中に中学生がケガや事故などで命を失う痛ましい事故や事件を耳にします。特に部活動での熱中症が心配です。体調がおかしいと思ったら遠慮なく自分から休ませて下さいと申し出て下さい。くれぐれも無理をしたり我慢したりせずに自分の命を自分で守って下さい。そして2学期の始業式には全員が元気で再会できることを願っています。